

# 実験実習機器センター

## 1 構 成 員

	平成16年3月31日現在
教授	0人
助教授	1人
講師（うち病院籍）	0人（0人）
助手（うち病院籍）	0人（0人）
医員	0人
研修医	0人
特別研究員	0人
大学院学生（うち他講座から）	0人（0人）
研究生	0人
外国人客員研究員	0人
技官（教務職員を含む）	16人
その他（技術補佐員等）	4人
合 計	21人

## 2 教官の異動状況

青島 玲兒（助教授）（S59.5.1～現職）

## 3 研究業績

数字は小数2位まで。

	平成15年度
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	3編（2編）
そのインパクトファクターの合計	0.17
(2) 論文形式のプロシーディングズ数	4編
(3) 総説数（うち邦文のもの）	0編（0編）
そのインパクトファクターの合計	0
(4) 著書数（うち邦文のもの）	0編（0編）
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	0編（0編）
そのインパクトファクターの合計	0

### (1) 原著論文（当該教室所属の者に下線）

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 村中祥悟：未来の形態学を支える電子顕微鏡と関連技術の発展，医学生物学電子顕微鏡技術学会誌，17(2)：90-92, 2003.
2. 柴田 清，藤江三千男，鈴木雅子，鈴木則夫，青島玲兒，佐藤英二，中村悟己：塩酸のHL60細胞に対する傷害のフローサイトメトリーによる評価，Cytometry Research, 13(2)：7-12,

2003.

インパクトファクターの小計 [0.00]

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

1. Sato E, Shibata K, Wu YX, Uezato T, Kobayashi K, Miura N : Darkened *Xenopus* tadpoles appeared with neurochemical agents, *J Environ Biol*, 24(1) : 39 -43, 2003.

インパクトファクターの小計 [0.17]

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

## (2) 論文形式のプロシーディングズ

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. Muranaka Y, Fujigaki Y, Shimizu T : Three-dimensional reconstruction of TEM images using computer tomography method, *Proceedings of the 4th ASEAN conference and the 3rd Vietnam conference on electron microscopy*, 43-48, 2004.
2. Ohta I, Fujigaki Y, Muranaka Y : Efficacy of unicryl resin for post-embedding immunoelectron microscopy, *Proceedings of the 4th ASEAN conference and the 3rd Vietnam conference on electron microscopy*, 163-165, 2004.
3. Kadohata K, Muranaka Y, Hotta Y : A new small freeze-drying apparatus for scanning electron microscopy, *Proceedings of the 4th ASEAN conference and the 3rd Vietnam conference on electron microscopy*, 166-168, 2004.

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

1. Hasegawa T, Hing HL, Muranaka Y : Application of focused ion beam (FIB) apparatus for microprocessing of the biological specimens on the scanning electron microscopy, *Proceedings of the 4th ASEAN conference and the 3rd Vietnam conference on electron microscopy*, 157-162, 2004.

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

## (3) 総 説

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

#### (4) 著 書

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

#### (5) 症例報告

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

### 4 特許等の出願状況

	平成15年度
特許取得数（出願中含む）	0件

### 5 医学研究費取得状況

	平成15年度
(1) 文部科学省科学研究費	1件 (22万円)
(2) 厚生科学研究費	0件 (0万円)
(3) 他政府機関による研究助成	0件 (0万円)
(4) 財団助成金	0件 (0万円)
(5) 受託研究または共同研究	0件 (0万円)
(6) 奨学寄附金その他（民間より）	0件 (0万円)

(1) 文部科学省科学研究費

藤江三千男（代表者）奨励研究「強酸と遷移金属を用いての紫外線照射によるN末端アセチル化アミノ酸残基の切断方法」22万円（新規）

### 6 特定研究などの大型プロジェクトの代表，総括

## 7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0件	0件
(2) シンポジウム発表数	0件	0件
(3) 学会座長回数	1件	1件
(4) 学会開催回数	0件	0件
(5) 学会役員等回数	0件	2件
(6) 一般演題発表数	4件	

### (1) 国際学会等開催・参加

#### 4) 国際学会・会議等での座長

1. Muranaka Y : The 4th ASEAN conference and the 3rd Vietnam conference on electron microscopy, Vietnam, January 2004.

#### 5) 一般発表

##### 口頭発表

1. Muranaka Y, Fujigaki Y, Shimizu T : Three-dimensional reconstruction of TEM images using computer tomography method, The 4th ASEAN conference and the 3rd Vietnam conference on electron microscopy, January 2004, Vietnam.

##### ポスター発表

1. Ohta I, Fujigaki Y, Muranaka Y : Efficacy of unicryl resin for post-embedding immuno-electron microscopy, The 4th ASEAN conference and the 3rd Vietnam conference on electron microscopy, January 2004, Vietnam.
2. Kadohata K, Muranaka Y, Hotta Y : A new small freeze-drying apparatus for scanning electron microscopy, The 4th ASEAN conference and the 3rd Vietnam conference on electron microscopy, January 2004, Vietnam.
3. Hasegawa T, Hing HL, Muranaka Y : Application of focused ion beam (FIB) apparatus for micro-processing of the biological specimens on the scanning electron microscopy, The 4th ASEAN conference and the 3rd Vietnam conference on electron microscopy, January 2004, Vietnam.

### (2) 国内学会の開催・参加

#### 4) 座長をした学会名

1. 村中祥悟 第20回医学生物学電子顕微鏡技術学会学術講演会

### (3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

1. 村中祥悟 医学生物学電子顕微鏡技術学会 理事
2. 太田 勲 医学生物学電子顕微鏡技術学会 評議員

## 8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数（レフリー数は除く）	0件	0件

## 9 共同研究の実施状況

	平成15年度
(1) 国際共同研究	0件
(2) 国内共同研究	0件
(3) 学内共同研究	0件

## 10 産学共同研究

	平成15年度
産学共同研究	0件

## 11 受賞

## 12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

## 13 この期間中の特筆すべき業績，新技術の開発

## 14 研究の独創性，国際性，継続性，応用性

## 15 新聞，雑誌等による報道